

令和5年度 教育週間

皆さん、こんにちは。

「あなたにとって、大切なものは何ですか。」

私は、この質問を、長崎県各地の中学生にしてきました。

調査の結果、長崎市でも、西海市でも、対馬市でも、平戸市でも1位から4位は全部同じでした。

第1位は、「お金」ではなく「命」でした。

毎年、長崎県のすべての学校で、5月から7月にかけて「命の大切さ」を学ぶ取組をしています。

なぜ、この時期なのかを覚えていますか。

2003年7月1日「長崎市の中学1年生の少年が、4歳の幼稚園児を誘拐し殺害する」という事件が発生しました。

さらに翌年の6月1日には「佐世保市の小学校6年生の少女が、同級生を殺害する」という事件が発生しました。

長崎県の犯罪発生率は、47都道府県中45位、つまり全国で3番目に犯罪が少ないのです。

その長崎県で、どうしてこんな悲しい出来事が、連続して起こったのでしょうか。

「加害者の少年少女、その親、だけでなく、長崎県民全員で、こんな悲しいことが起こらないように、命について考えていこう」という願いを込めて、この時期に「長崎っ子の心を見つめる教育週間」を行っているのです。

あなたは、命を大切にしていますか。

2023年6月9日、中総体の前日、南米のコロンビアから大きなニュースが伝えられました。

この日の40日前、5月1日、大人3人と子供4人を乗せた小型飛行機が、コロンビアのジャングル上空で消息不明となりました。

搜索の結果、5月16日、真つ逆さまに墜落した飛行機と、2人の操縦士そして母親の遺体が発見されました。

しかし13歳、9歳、4歳そして11か月の子供は見つかりませんでした。

搜索隊の司令官は述べます。「遺体が見つからないということは、子供たちが生きているということだ。私たちは決してあきらめない。」

数百人の兵士と現地ボランティアの人たち、さらに救助犬による大搜索を継続します。

搜索隊は「足跡、哺乳瓶、おむつ、かじったあとのあるフルーツなど」を発見し、子供たちの生存を確信します。

しかし、ジャングルには猛獣や毒蛇も多く、食料や水を得るのは簡単なことではありません。

ヘリコプターから、子供たちのおばあさんが呼びかけます。

「動き回らないで、その場にとどまって。必ず助けに行くから。」

そして、6月9日、奇跡が起こります。

これが、その時の写真です。

少し、虫に刺されていましたが、子供たちは元気でした。

コロンビア中が、いいえ世界中が喜びと感動に包まれました。

実は、子供たちのお母さんは、墜落後3日ほど生きていました。

そして、亡くなる直前に、13歳の長女レスリーさんに言い残します。「ここを離れなさい。まもなく死体の匂いを嗅ぎつけてジャガーが来ます。あなたが、妹たちの命を守るのです。」

レスリーさんは、母の言いつけを守り、墜落地点を離れ、弟と妹の命を守り抜きます。

発見されたとき、一番下の妹は、1歳の誕生日を迎えていました。

子供たちのおばあさんが、涙ながらに述べていました。

「ジャングルが、孫たちの命を返してくれた。神様に感謝し、世界中の人たちに感謝します。」

実は、私には、4人の子供がいます。

東京や鹿児島・福岡など全員が長崎県外にいますが、その4人の子供たちが、幼稚園の時に、よく口ずさんでいた「いのち」という歌の歌詞を、最後に紹介します。

命が こんなに尊いのは この世に たった 一つだから

命が こんなに奇麗なのは 神様が心 込めてるから

命が こんなに愛おしいのは それは あなた あなたの命だから

父さんがいて 母さんがいて 家族がいて みんながいて

そして あなたが生まれた 決して一人ではなかった

みんなで守るよ その命を 心と体 傷ついても

あなたの 命は変わらないよ 美しく光り 輝いてる

生きて 生きて 生きてほしい かけがえのない あなたの命を